



鳥取県立鳥取盲学校

学校だより

第 2 号

校長 竹信 純一

平成 28 年 5 月 1 日

多くの経験ができた春の遠足！

連休のはざまの5月6日（金）に部科別遠足を行いました。あいにくの雨となり学部によっては計画を変更して、午前は授業に切り替えたところもありました。しかし午後は全校で鳥の劇場の「すてきな3人組」の公演を鑑賞しました。

小中学部は、バスとタクシーで移動し、警察本部に見学へ行きました。警察本部では、通信指令課と交通管制センターの仕事内容の説明を受けました。児童生徒はたくさんのモニターに写しだされた道路状況や、実物大の信号機に感心していました。昼食は県庁の最上階にある食堂で、希望するメニューの食券を購入して食べました。初めて経験する子どももいましたが、最上階から見える景色を楽しみながらおいしく食事をしました。



<通信指令課>



<交通管制センター>



<話を聞いている様子>

高等部普通科は、県立図書館へ行きました。しおりを作ったり、おはなしの部屋に入らせていただき、大きな声で歌ったり遊んだりして楽しみました。その後駅近くの店で食事をしました。くる梨バスに乗っての移動も楽しむことができました。



午後には専攻科・保健医療科の生徒も文化ホールに集合して、鳥の劇場の皆さんによる「すてきな三人組」を観劇しました。見ながら歓声をあげたり歌を口ずさんだりしながら楽しい時間を過ごすことができました。

劇の途中には児童生徒も参加協力する場面もあり、舞台にあがる経験もすることができました。



学習環境を整える配慮は大切です

児童生徒が日々の学習を行う上で、学習の環境を整えることはとても大切なことです。一人一人の見え方や見えづらさに応じた学習環境をどのように工夫されているのかについて研修を行いました。「生徒がまぶしさを強く感じるために、ブラインドを半分くらい降ろして遮光したり、大画面のテレビを傍においている。」「拡大読書器を使って学習するが、色具合によって見やすさが異なるので△色と□色のコントラストで見やすくしている。」「室内に段差があり危ないので、色をつけて安全な環境を作っている。」など、お互いに実際の部屋でどのように工夫しているのかについて紹介し合ったり、意見交換をしたりして研修を深めました。



「地域とつながる」活動に向けて～野菜づくり～



今年の学校経営の重点の1つに「人と関わり合う児童生徒の育成」を掲げています。小学部では中庭にある花壇を利用してきゅうり、トマト、なすなどの夏野菜を作ります。昨年学校近くの公民館の山本館長さんが子ども達の作った野菜を見られて、「もっと大きい野菜を作ろう」と言われて、協力していただくことになりました。この連休中に石灰や油かすなどを入れて土づくりをしていただきました。子ども達と一緒に野菜苗を植えて、関わり合うことになりました。

子ども達と一緒に野菜苗を植えて、関わり合うことになりました。

点字教室スタート

この教室は視覚障がいのある成人の方を対象とした教室です。4名の参加者があり、個に応じた指導を行いながら、年間16回開催して力を高めます。



校内弁論大会を開催し、専1年の生徒が最優秀賞となり、6月に開催される中四国地区盲学校弁論大会（広島大会）へ出場が決まりました。

5月行事予定

- 12日(木) 内科検診
- 12日～13日 中国地区盲学校長会・PTA連合会合同会議
- 17日(火) 耳鼻科検診
職員会議
- 18日(水) 職員会議
- 19日(木) 県特別支援学校PTA
- 19日(木)～20日(金) 中間考査
- 20日(金) プール掃除
鳥盲ボランティア
- 23日(月) 部活動、点字教室
- 25日(水) 鳥大生学校見学
- 25日(水)～27日(金) 職場見学(専3)
- 26日(木) 治療院見学(専12保理)